俳諧七部集注解

[illegible]

荷分尾陽藩士
山本武右衛門名古屋
来名所記
遊佐小勢内の作りを
云
明詠集
[illegible]

尾陽孝子松樹本堂主人著述集を源て
[illegible]
何れよりか[illegible]
[illegible]
何郷か旅寝[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

元禄二年 洛 芭蕉桃青

荒野集目録

百年の荒野荒野
とゝくとうり 蕗花
人氣の味をとりよ
巻頭に荒野と標し
巻の一より順次に
作り順に定る

巻之一 花 郭公 月 雪
巻之二 歳旦 初春 仲春 暮春
巻之三 初夏 仲夏 暮夏

卷之四　初秋　仲秋　暮秋
卷之五　初冬　仲冬　歲暮
卷之六　雜
卷之七　名所　旅　述懷　感事
卷之八　釋　故　神祇　祝
員外

曠野集巻之一

花三十句

[illegible]

貞室

路通

信徳

晨風

友五

曠野集巻之一

花三十句

[illegible]

貞室の句[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]　こつ
[illegible]　心茴
[illegible]　詩人
[illegible]　壁水
[illegible]　松
[illegible]　冬文
[illegible]　高弓

倚安（ナリアヒ）俗云ユキナリも

宮社[illegible]の[illegible]（ブキ）

柿（コケラブキ）葺

和名抄　柿板（コケライタ）同

酒の[illegible]人の[illegible]

月[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

櫃[illegible]　同

杜字　二十句

[illegible]

[illegible]

[illegible]　[illegible]

杜字二十句

秋風[illegible]

七句三限まれと云

同　[illegible]　初冬　素堂

いそのかみ中[illegible]　詞宮

[illegible]　時雨　蹴人

[illegible]　松下（ツヒヤ）　[illegible]

[illegible]　時雨　[illegible]

[illegible]　柳机

あふ人のそゝ[illegible]　蕉雨

せ[illegible]

[illegible]　鳥仙　[illegible]

[illegible]　落梧

[illegible]　時雨　一笑

[illegible]　時雨　同

[illegible]　風泉

[illegible]　吉雨（キウ）

[illegible]　傘下

[illegible]

[illegible]　同

[illegible]　郭公　弦可

[illegible]月の月を

[illegible]時鳥

[illegible]　大伴　智月

[illegible]　李桃

[illegible]　市山

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ここやとも見る月の影は　長江
波を吹くるえて月見れば　任他
一つ影やいくらとてらす月の　長洞
名月を取るきなるうきを　越人
名をやとしてはるかに　文鱗
名月やいばをうつ清水舟　昌環
明月やさしてあるこの中　傘下
名月や敷のあるとだのうち　二水

天暦所製
月こそはうつる月あれ
名月のこころいの月を
明月もおき

ひとつあるこころ人の月とは　地水
名月の心いろいろ
ひとつうつる月をうつるもたらし　荷兮
いつの月もあるとうきて長影　田
名月や河もれ出るる心見す　玉重
めいげつや下ってうつるのもの　胡及
名月をあるきもるる林くる　釣雪
月をうん拾きたりや月の氣　一髮

十三夜

新妻の枕元なる月見哉　杉風

朝

寒いよ月の氣もよし　酒の星　若分

二日

月なかなかなる月の夕べ　令

三日

何ものの人をも恋ふる　この月　まさを

月は柄をさしたるかよきうちわかな　宗臨

世の侘て居たらうこそ

四日

名月取あんとをりて石門を　卜枝

五日

何ものもつくるもの　この月　一泉（イッコ）

六日

銀河　月のこと　酔考（ツナカナ）

七日

鮎をとるよりてひろる月見に　一髮

自然居士の句

那須坂の山影の
ゆゑ書てはとて
いとゝらハ志再業

加賀ハ九化の初名

雪三十句

大はら

雪のうへや那須よりあなたの
いさゆゑ雪ハ降ぬ
竹のやさ雪ハ折ぬ
かさふるや雪の重い品の山
車道をなをしの雪ハ
ちらぬ雪ハ乱て
ちる雪ハ

元角
芭蕉
慶文
加化
京 小志
カ 越人

雪三十句

ちる雪ハ元の雪ハ春ハ
ちる雪ハ雪の降ぬ雪の一川ハ
ちる雪ハ松ハ雪ハ雪の限
雪ハ雪ハ雪ハ雪ハ
雪ハ雪ハ雪ハ雪ハ
雪ハ雪ハ雪ハ雪ハ
雪ハ雪ハ雪ハ雪ハ
雪ハ雪ハ雪ハ雪ハ
雪ハ雪ハ雪ハ雪ハ
雪ハ雪ハ雪ハ雪ハ
雪ハ雪ハ雪ハ雪ハ
雪ハ雪ハ雪ハ雪ハ

是幸
松芳
二水
魚仙
さう
陳風
警行
金下
芳川

雪の跡うら跡てくるたより　　冬文

雪より芋掘さやりや麓の壱　　桂夕

ちらしやゆき分強仮（ナカフ）　　苔雪

大つせや先子殿て御ま　　路通

はつうてうつ乙和ま乙和　　野水

再みて以うゆんもゆ乃ゆを　　芳川

時陽に酒を飲て酒に酔て酒を食子を食子
人れて酒の中に酒を食子を食子
糟を食子を食子

酒ふ中に酒を造る
ゆをを吸ひ上を
遠へ来つ中てさを
中かくをいふ

みちのくをい
ふ中て強仮を
強仮（フナカリ）といふ

句に天を星をいふて
陰をふ中れいと
ふ中ふ

けるを星を二百をを
ふをいふたをを
ふをて中国ををを
ふ中ふ

玉を川に川をを玉を
ふ中陰をを中ふ和
ふ中ふ

伊勢の御宝を
奉ふたふの之也

御日
詞

宝徳に河ふ中ふ
ふ中ふ中ふ中ふ
連歌の奥ふ中ふ
ふをを中ふ俳諧ふ
ふ中ふ中ふ中ふ
ふ中ふ中ふ中ふ

歳旦

曠野集　巻之二

歳旦

二日ふをふ中ふ中ふ中ふ中ふ中ふ　芭蕉

ふをを人のふ中ふ中ふ中ふ中ふ中ふ　新古梵

ひの水やふをふをはふく泡　風俗野

ふ中ふ中ふ中ふ中ふ中ふ中ふ　史角

ふて中ふ中ふ連ふ中ふ中ふ中ふ中ふ　文鳥

月をふ中ふ中ふ中ふ中ふ中ふ中ふ　去来

[illegible]

[illegible]

[illegible]

長虹

氣彈

同

湍水

京 ヒ色

朴什

みを文

傘下

大眼

桂風

防川

昌勝

夕道

栖吉

暁水

同

大眼

桂風

防川

昌勝

夕道

栖吉

暁水

同

大眼

桂風

防川

昌勝

夕道

栖吉

暁水

同

大眼

桂風

防川

昌勝

夕道

栖吉

暁水

同

初春

初春

越人

同

石兮

同

般高

奥宝

[illegible]

[illegible]

[illegible]

行くてのかたの裏に　麈交

[illegible]人の蓑を拝借に　[illegible]文

こゝをやゝまつかぜの二三丁　芭蕉

[illegible]や了の眼のとゞく　傘下

水仙の[illegible]　鳴雷

[illegible]　荷兮

弟[illegible]題木

つゝこの四つのさゝれ　舟泉

つゝこの下に[illegible]　傘下

桜木

[illegible]　荷兮

暁の[illegible]紙ちぎれ　[illegible]

同　[illegible]乳の[illegible]　卜枝

[illegible]　[illegible]雨　紙屋

[illegible]　[illegible]　湖水

同

[illegible] 蘭隆

白尾鷹

[illegible] 水

[illegible] 寿

[illegible] 龍助

[illegible] 舟泉

[illegible] 丈角

白尾鷹

[illegible] 白さを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

風の吹音を後の柳哉　那水
行年も新しき月柳　越人
さし柳さそふ春の色ふかし　一笑
天をさすかたちの柳　小春
きえ〳〵の柳に風の一笑　一笑
氣つかぬ花をもつ柳　昌碧
さきそめし紅の梅の雨　杏雨
咲て垣よりそそる柳　此橋

（句形の意味の三味線）

咲屋の中のつきむく柳　杏雨
ふるさとを離るる柳　杉芳
風ふるいそめしの柳　枝遊
いそがしをそふる柳　荷今
うつるもよみさす月の柳　仝
玉柳ちれて面す車仁　素秋
川ばたうつす柳哉　鴎歩
菊乃花を見ぬ者を柳哉　生林

仲春

春の林の葉のもとに春山　不悔
葉の花の杉葉のもとの冠　長虹
ふるつまに春の雨の日暮　傘下
なの花の時うぐひすの山　清洞
うぐひすも人に知らぬ春山　古道
百生をさまてしてすまの山　昌碧
つまをやとうぐひすさくら山　越人

仲春

作向し

春雨や一むらの雨の春山　笑芝
そよぐ葉にさくら咲ぬ　蕉風
夕のぬくもり春さくら山　一格
うし飼ふ人の山の桜山　多々打
さくらの雨の山の桜山　一髪
さくらの風のかすみ春山　野水
あかるき夜てしたの春山　蕉風
雨をつくを春雨春山　一雪

炮碌

塩車　宗鑑
越人　芭蕉
一斗

柳風
桜餅　炊き
石歳

忠知
春雨

答ふ又と西行ととあるを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

曠野集　巻之三

初夏

路通

傘下

嵐蘭

荷兮

心詠

一丹越人

不交友義

紀洞行洞

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

李桃

大粒丸雨さそふ竹の花　春巡

[illegible]吹ぬけの竹の花　吉次

[illegible]川の[illegible]て

[illegible]みしらふかしら　嵐雪

さしいさのそこに笑[illegible]社[illegible]　曙水

[illegible]

元輔

[illegible]

[illegible]

一筑

[illegible]　石文

[illegible]　風留

[illegible]　吉江

[illegible]　倉岳

[illegible]　卜枝

[illegible]　鴉岩

[illegible]

秋芳

小春

春雨

二水

一笑

胡及

児行

此橋

長虹

古道

水郷

雲水

一龍

尚白

鬼洞

貞室

以一云

貞室の句を初五を
以句を云に云ふ事
やうて世しきと
つよ和歌の俳諧
菊の句と都も以言
ふ事ふ事を以て義を
詩句ときこえいーと
又とへ事を

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

すひつさくさきさくの庭俤　貞角

[illegible]の[illegible]秋[illegible]の[illegible]

ゆふくれの[illegible]人の[illegible]　昌碧

[illegible]

[illegible]　儲宮

山[illegible]　市柳

名[illegible]　長虹

暮文

柿　[illegible]

[illegible]　昌碧

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

今

卜枝

未聲

秀心（キツ）

晨風（ハツカ）

吉埼

芙水

長江

[illegible]

俊仙

大閑

偉月

尚白

一髮

卜枝

李晨（キツ）

越人

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

自詠

[illegible]

[illegible]

[illegible]

仲秋

[illegible]

桐[illegible]

[illegible]

[illegible]

林間焼酒

焼酒

[illegible]院[illegible]

叡覧の吉[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]　一笑

暮秋

[illegible]　巴丈

[illegible]　昌碧

[illegible]　越人

[illegible]

[illegible]　晩龍

[illegible]

[illegible]　き角

[illegible]　同

[illegible]　二水

[illegible]　千岡

[illegible]　芦夕

暮秋

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

加生

路面

初冬

曠野集巻之五

初冬

湖春

尚白

偏水

荷兮

人を待つ夕べ

けさ見ねこぼれ咲きしあれば　落梧

紅葉の下陰のうす黄ばみ　炊也

一つ咲くうれしさ一輪　金平

こがらしの吹きすさぶ夜の月の冴えかな　荷兮

一枝折て枕の花の名残哉　一髮

とのぐもり時雨降るなり　同

枇杷の花人のつれなき夜の雨　同

[illegible]

書晨

[illegible]　昌碧

[illegible]　今

[illegible]　一井

[illegible]　落梧

[illegible]　胡及

[illegible]　文鼓

仲冬

[illegible]

[illegible]

[illegible]

棟（ソウ）し

以ておて詩をやく
禁あり

[illegible]の歌せんとして[illegible]
水桐の[illegible]
[illegible]のときを取さり
つきふりてかの[illegible]
[illegible]し[illegible]
[illegible]

杜國
徐玄
俊仙
[illegible]
夜舟

[illegible]題一雪舟（ソリ）

[illegible]
[illegible]

[illegible]
荷兮

[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]

長虹
一子
[illegible]
合[illegible]
白[illegible]
忠知
龜洞
村俊

[illegible]
[illegible]
[illegible]

行おりて谷より流れ出る水を
汐の風腸の毒切なさ水を利き
炭竈の穴掘さしやう窯少
臨まるを掘りもるる窯さに
出しなりして窯りなるを植一筑
いつこれ底起せい手ほどき
ふるこもうみなるを什をう
蔵暮

蹄つき中内も杉すの図
ふわいてよ必ずあるこの義
ものの化の浮ものけてもの
もるもの塔つこの茅舎
こ塔柿もけるの紙
木の月たてくる人ものやけ
もして柿の実ひろ拾ふほ
もの一のももとあるかも
きもの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

雜

荒野集巻之六

雜

年中行事内十二句

供屠蘇白散　荷今

いとまもなくふるやとしをのこの人数

春日祭

石清水臨時祭

伊勢石清水に二社の宮
廟し給ひ明天皇三十一年
春新宮守法殿の社を
元後法和天皇延喜天皇
八月廿三日の男山
うつし奉る

時鳥

ふるのやしろの跡を村上天皇
天慶三年四月中午の
年 北門居住の初
三月の頃の事
新宮金殿を時鳥
樹頭使者来人傳
語従心所之
五月許也

菖蒲

ながさはたくかさねさしくれ

滝 体

ふるのやしろの跡を村上天皇
天慶三年四月中午の
年 北門居住の初
三月の頃の事
新宮金殿を時鳥
樹頭使者来人傳
語従心所之
五月許也

端午

菱行くとかなの詠なり

菖蒲

菖蒲の心心あるものの
法師なるべし

菖蒲

菖蒲の心心あるものの
法師なるべし

菖蒲

菖蒲の心心あるものの
法師なるべし

[illegible]

[illegible]

[illegible]

巖風吹袂衣　同先六

不寒復不熱

池暁蓮芳謝　同先十七

蓮のしたもみぢ

月貧衆所知

唯贈北窓風　同先十七

[illegible]

天の部

大廈四時恩総苦就中偏賜是秋　抵天　同先十七

旅[illegible]　秋の空

夜来風雨後秋気漸[illegible]　秋　同四十

秋のつれなく[illegible]

蓮と鏡湖初夜長　同十二

秋[illegible]星河欲曙天

一一[illegible]　燈影同

殘影燈闌鈴月穿簾　月　同先十

[illegible]

一月の秋霜能壊色 同四

白雲中まを絶て久を秋の泉

十月江関天氣好

可憐秋景似春色 同十三

こがらしも去てしを思ふ山里

寂寞深村夜鹿聞

さらぬだに思ふ山の秋の月 同二

俳人の手

歳時記と人

白波漕洗沖の紅 同十四

俳名の乳ふくしい懐く白髮

祥岡の一条 祥岡義長

祥岡の埋もれのこる紅葉も

さびくれたりしを

鎌倉日記

かけろふのもえつきぬる

付句 寂

舟泉

[illegible]

[illegible]人の家

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上臈人ハ十二歳ニシテ
漢宮文を進奉の
四いつゝ[illegible]
天王寺上臈人と題る
[illegible]
[illegible]

小頭、鞋履、宮衣裳、長袖
同光
[illegible]
[illegible]

西施

宮中拙得蛾眉、斉不獻美
君是愛君　汾備殷

王昭君

そもそも[illegible]
[illegible]
牡丹の[illegible]

漢帝單于と王昭君を
おくる　昭君ハ三年一の
宮女と成て
此事を[illegible]
天王寺ニ昭君ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

玉貌風流絵画図　同左

一日留[illegible]

卯　　鈞雪

家市の[illegible]

辰

牡[illegible]
[illegible]

巳

[illegible]

年

[illegible]

末

[illegible]

甲

[illegible]

[illegible]

不[illegible]

[illegible]

山[illegible]

[illegible]

[illegible]

海邊

[illegible]

川邊

秋の夕[illegible]

牛馬曰足[illegible]謂大落馬首

宮子曰異[illegible]謂人　荘子

一方を[illegible]　趙人

[illegible]

[illegible]

花冉冉於壑　花心於澤

謂之固然而夜半有力　同

右頁之[illegible]走

[illegible]

絶壑[illegible]　同

七夕よ[illegible]

鋭右矢　古文後集古硯銘

[illegible]

桂多

[illegible]

弛石壽（イシヲナカシ）

[illegible]（アカラ）　市山

[illegible]房

[illegible]　一千

師亟

[illegible]　荊山　[illegible]

一休

[illegible]　滿水

[illegible]

法然

[illegible]　[illegible]　嵐弾

山岩

[illegible]　滿水

[illegible]岩

[illegible]　仝

曠野集巻之七

名所

杜國

八三郎の白魚を竜田川
白魚を敷 竜田川の四季の中 或アラシ山
しら魚の四季の中 或アラシ山

荷兮

から崎の桜を紙に
さくら一枚ゑがきて
旦ゑおさむ 孤屋
おもしろきものかな

大淵

地ゑて花ゑ咲けるル
ほとゝぎすいくつあるか
孤屋

荷兮

[illegible]

[illegible]の
従還を長二十回年
見心徳に法州し
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

十三夜の月を賞する詩

明月

明月の下なりし四山
（石州西道路の北なる 路の事）
八月はのちのもやまに
月を賞する事明月の十三夜
詩に鄭少尹何大復
詩を和し奉る
也過五夜 詩を
賞来に又九月十七夜の
月を賞する詩を
明月

湖

湖を隔てゝ
かゝる時やとまりあるもて
もさしの岸に
なりの岸に
なりの岸に
なり

[illegible]

夕楓

[illegible]

一舟

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

述懷

荷写
姑水
跳人
金仁
宝岡

芭蕉
同

路通
快宣
長拙

[illegible]

[illegible]　　杉風

[illegible]　　桃先

[illegible]　　素堂

[illegible]　　孤屋

[illegible]　　同

[illegible]　　吉兩

[illegible]　　杉風

[illegible]　　泉岡

[illegible]　　嵐雪

[illegible]　　曉雨　嵐雪

[illegible]　　[illegible]

三州伊良古崎　杜國の墓

[illegible]

[illegible]

右馬頭あり人木枯の
[illegible]山杉を
くらべ[illegible]

杜國

[illegible]

越人

[illegible]

荷兮

[illegible]

風弾

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きぬてやたの事ども　時多　陳風
敢なき海人又ゝ海の花　去虫
もしほの間ゝを松かゝる　文調
世ゝにや袖なぬらす　女子　冬文
さしけれし　蛙ゝ　心棟

六宮粉黛無顏色　長恨歌

ゝ色やゝ稲ゝなけ月の影　長虹
一色ゝ人絃あるをゝ水　尚白

ゝ
長恨
ゝ
ゝ
ゝ

心ゆかりのきぬしよ　きぬしを爲ゆえに所作　文杖
白ちんしゝ　ちんの　かゝるかなしさ　吟味せ　おそれ　ゆめの比　紙ばかり　昌碧
ましまし

無常

けふ　武の辭世よ　詠ぶ
寒松日　武に天文十八年
八月の記　けふの　夏ゆえ　武の法師作　多武
角ゝ　某　武の後世　無常迅速
言捨ぶ　あるべ

うかりしも　又　ありしも　無常の世の　紅の　傘下
祈り出　常の　松の　人　吟味せ　ちゝ
記を　祈せ　ゆえ
祈　ふれ　さもあり

あるべ

合　ゆえ　記せ
ゆゆしゆゆし
橋の　ゆゆ　人の　記　ゆ
ふれい　警せ
さつき　行　花　橋の　ま
ゆゆ　むし　の人の　砂の　橋　の　ゆゆ　新　ん　ゆ　ゆ

無常

吐いふふ

ゆ　ゆ　ゆ　

[illegible]

水無月の桐の一葉を[illegible]　雅水

[illegible]

[illegible]灯籠一つよりこの[illegible]

[illegible]

[illegible]　一路　蓼花

一[illegible]　白雲

[illegible]

[illegible]

[illegible]

釋教

[illegible]

[illegible]

[illegible]

連翹や三聖の[illegible]たる[illegible]

胡及

[illegible]

木瓜や[illegible]の[illegible]二王山　松苔

[illegible]

[illegible]

松間

[illegible]

雨を[illegible]て[illegible]花の[illegible]　松

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]待[illegible]

平本施一切　回向文

[illegible]

[illegible]

[illegible]

伽藍の粧飾の
梵語

古寺の雪　荷兮

曝書　伽藍の聖教の

同

雪折や脇と脇とのあつまる　脇　俊似

[illegible]　つくづくこいされもせず　雪仏　一井

[illegible]　[illegible]　[illegible]　

月の落葉の桜木の秋　如飯得

かなしさ清水又作る山里に　如病得醫

秋のよもすがらかどいりさせて起さ　如暗得燈

[illegible]

神祇

[illegible]　詠堂

三月廿五日の夕納ル

[illegible]の月の桜　荷今

[illegible]して桜[illegible]花に　同

[illegible]水あふれてこぼす桜　亀岡

上下のなやらん秋の桜　昌碧

桜の年　詠堂

[illegible]

月法[illegible]

天然太祥天の石室に入り

經三[illegible]を閉を出ル

[illegible]閉て[illegible]の[illegible]

於て[illegible]燈を[illegible]

[illegible]

神祇

宮の渡い宮のこゝ[illegible]の
のうとうとう[illegible]
伊[illegible]七宝のこゝ[illegible]
宮古尾張

何のやらあるこゝ[illegible]　梅の花
[illegible]
[illegible]　梅の香
門あて　梅の[illegible]
[illegible]
[illegible]　社

宮より渡川渡らるゝ
[illegible]

火事
照射
[illegible]
[illegible]

社の本を[illegible]
[illegible]灯をいくら火事に
[illegible]
川原より[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

十月

宮古の池堀り
[illegible]

玄察
亀岡
[illegible]
荷今
尚白
松[illegible]
[illegible]

社宮のこゝ池尾
[illegible]
宮奉納

言砂の徳

[illegible]

[illegible]

[illegible]

紙はまことにしるしあることを
いつくしみてしるし

貞外

曠野集貞外

東国にて東叡山と蔵を
開といふより起る
佐川田喜三郎井筒の長吟
作と佐川田喜三と云さう俳諧の
元祖昌俊と号る山城国嵯峨の産
土祭礼
[illegible]の山石行きをの新るし
心よりかるる山年の白雪
[illegible]の山の名高しとも
生来れり
[illegible]
きのふ山一[illegible]の新[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
市中[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

武蔵の鷹つかひとなりて西
たちとりよりついて流の呼を
儀より給とをす芋の上
はふり降らして巨を毛の内
ををへうり松の山きふ花の絵
千角いをあむ小山のてら
姥さ北一言さくも嵯峨
あてをもあるい月明山

人
水
今
人
水
今
人
水

一言よ唐土山い
讃岐ことを
れいかはふも
只角ををうつ山のを
鷹つうををを

竹子角を大原り
子角ををれと
張角ををを

泥とかは字まひを
より遊人と呼をを

武蔵の鷹つかひ泥をやをあ抱の
秋をなを以く遊人の書
呼ら西も東も浜の方
さふりあるから利根の川舟
ふをのあてりををををを
取をよ川と水線をを
ふらくををの市り塔いを
拓つををや人のをを

今
人
水
今
人
水
今
人

鮎 師のかふる
魚

咸陽宮

[illegible]

柏木右衛門督薨事

同人に贈官

酒柳いかり　柳

[illegible]

不破関屋を秋風の小萩ちるらん

不破の関屋

[illegible]

不破関屋　[illegible]の歌

[illegible]

柏木の御[illegible]

[illegible]

月の[illegible]

秋[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

亀岡

荷今

昌碧

[illegible]水

丹泉

[illegible]

[illegible]

一駄[illegible]れも古郷

[illegible]

[illegible]

[illegible]

砌下の泉のかゝ[illegible]

[illegible]

[illegible]

卵

[illegible]

蝦蟇（カマキリノヒト）蛸　俗ニヲフデフグリトモ

[illegible]

又ハ花子家後ニ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

荷兮
冬文
舟泉
松芳
冬文
荷兮
松芳
舟泉

[illegible]

荷兮
冬文
舟泉
松芳
冬文
荷兮
松芳
舟泉

[illegible]

佐藤弘[illegible]

[illegible]

荷兮

冬文

舟泉

松芳

冬文

荷兮

松芳

舟泉

[illegible]

[illegible]

荷兮

冬文

舟泉

松芳

冬文

荷兮

荷兮

雨のなかに行のこのあるもあり

雨のつくもふるさとの人のに　曙水

引捨て車に乗るかぎりなし　同

あるさくらもいのこのこのひ　荷兮

月の秋旅のたくさんもも　同

一ぱいにふる家のさくあ　曙水

雨のなかに心の跡

中ゝ雨の中にもつゝ

ゝと行くふるも

故に雨のふるにたるを

所也

仲二云

仲二雨を加るの事

ふるゝなるを

ふるゝ

ゝとふるゝ

初あらしをの窟の情景　水
草枕あいたるまくら　今
むしを肥をみしよりさよもの　今
下別れ　神を切るき　水
面影のついそうけを面影の　今
六位の高のういさ　今
代まいりやとして　今
銭　一両　餞　一両　水

遺戸部の実張本
御張　つツバリノコトナリ
面影のよう一節
ツ世物語の例
大ニ高ク高ク高ク
明ル

和名抄
木天蓼

於人い色色の
人ものしー

月の影星ほをいそ秋　今
名呼ぶし小夜　今
天仏蓼　よ冷食ものを　今
ゆうひよ扇　海の中　水
於人ものてを和ものを　今
夕世を　仏ついてやる　今
動のおし呼い信濃小学校　水
秋の夜　よ　芋侍踊踊　今

[illegible]

水　八月の月のかたちをいとゝ

今　山の端より出て[illegible]

水　さびしきものかなるふる

今　里[illegible]

今　[illegible]

水　[illegible]

今　[illegible]

水　[illegible]

今　[illegible]

水　

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

相古ハ弦照孫角ハ
寂通のうし
諸注と考へられハ此を

歌あるを相古孫角よみを
ゆく　松をのうれちらんもの
灯　夏の油をを埋し
如をおるをいきしを
夜風をのうるの家を
半ハうをを　籠や下の社
をうるを日を紙の紙を
人の社をを用をを

同
下
同
人
同
下
同
人

苴の花さまし

代二云
傳、麻を也とを徒れ月
叔苴とあり　叔いを
苴ハ麻を也かをい反をを
をす八をいをれ外居堂
苴い麻の傳字うて
内麻の義あるを
紀をいかをを　瓜を
花の上事を麻を
をををををあり
子ををもかつをを
あるををを於てをををの子の字
苴ニアリをのをを代をを代をを

あり
台信州
百一カとハ中者一子をかつををかをを
陸注ををををををををををを

あり
百一カとハ
陸注ををををををををををを

下
人
下
人
下
人

此庵にて元禄二年七月元禄元年秋にあり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

吉待日

長安吉祥在利地
定子參行歌

長安に只繁花の
地と申ふこと

四方にかすみ
うるはしと申意

主菅
所吉の四家と
天子をうしなふこと

源氏繁のとれ
御しるしり
かたをとひろこ

越人

長安に只繁花の地と申ふこと

四方にかすみうるはしと申意

主菅
所吉の四家と天子をうしなふこと

源氏繁のとれ御しるしりかたをとひろこ

越人

長安の

人　恋ていとは法師の句いかに

恋　恋の行脚

人　初鹿野を過ける　雲の行脚

恋　恋

人　かくて年の暮かな

恋　恋

人　恋の笠の雨ぬれて

恋　恋

人　あやにくと蝶ゝ夕ふる

恋　恋

人　雨のくやしさたらぬてもて

恋　恋

人　川月のうつるを清ましく

恋　恋

人　東坡詩　蘇子瞻　遠ても

恋　恋

一重に西行とよめ
うつしとよまい歌
中ごろ法師

句に句或の事を
いひ捨ふる

心ふかき
すゝきも秋の心
こもよせて　秋の心
かすかに
深き

心の秋の心も秋
いはりこいのこと
そこ　やまと

此三
若ゝ
砂を深き
ゝゝの
一巻のうつさを
秋

人　恋の行脚
つゝ　旦句の
恋　恋人
恋の娘
恋

人　恋
心
恋
恋

人　恋
恋

人　秋の月
さいしゝ
恋

人　いつ見てく乱の本
恋

人　秋
恋

人　花の
恋

人　月
恋

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人
角
仝
人
仝
角
仝
人

仝
角
仝
人
仝
角
仝
人

同日出雲の
書簡者
宗一山物語

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

唱歌

[illegible]

[illegible]

疱瘡（イモ）の途中に新宮の白
唱歌いたす壹たりやう
ふるさとの[illegible]
波[illegible]
けさもあ[illegible]
り[illegible]かつら 浪人
[illegible]
[illegible]月[illegible]

人
雪
同
越
人
嵐
雪
越

明ものと白家の白
[illegible]
[illegible]
[illegible]

三月白雲庵梅林

[illegible]

山川や嵯峨の桜を[illegible]

法華寺[illegible]伊賀[illegible]

上野[illegible]城跡の桜

を[illegible]

[illegible]

初雪や[illegible]伊賀の桐の[illegible]

[illegible]

山川や嵯峨の嵯峨を[illegible]

[illegible]

[illegible]

川越の宿にて秋の日

水

ねぶ流の音ふかし

接

ワきてもとしの暮かな柳の下

水

すこのうきつゝ

接

夕ぐれの月ものこりて

水

笠の打あらふあつもり

接

旅さるうつの日芳春

接

ねぶ流の音ふかし

水

せこし夫

接

ふかの清い

接

柳花ゝたゝ

水

三弦を手すさ

接

笠のそしてをい

水

ちゝかをこいふとも

接

夫より三弦をうつ

水

天を仰て柳花の

接

さとし

水

次の宿にて

接

柳一たし

水

ふかの音も一文よ

接

下ニ月の松をも

水

車や当やよ笠の打ふ

接

ものゝ色ふの初午

水

川やらも宿ものゝ

同

山伏行ゝ

水

くゝしゝ

接

地灯をあ紀美

水

格

水

格

水

格

同

格

水

同

格

水

今

格

同

水

格

文字集異　順和名

蔦　福草　俗用　幸種

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

長虹
胡及
一丹
嵐弾
胡及
長虹
嵐弾
一丹

長虹
胡及
一丹
嵐弾
去虹
胡及

秀穂文庫

夫俳諧は部集の注釈なり
先哲の作を注するに
注に無用あるべしと
乃至数言を費す
あるべし 情意を表し欲慨の
刻苦して

秀穂文庫

[illegible]のことを初めとして世間の[illegible]
おのおのされと光孫の法の流
きい元孫のむかしを許に続き
こそるをいつきいの事を探り
きりとすもてとく歌言
をとあれさるに三時代
のたるふ兄弟の法さと

よれい賞の法をいく
せもちを第一法福寿の
弥ある法本堂身の御老
ちをしよこをちこを
人の知をれりて初れ
莫逆のあこを貴ひをりや
篤実温和加ふるよく
時移をこを世を風流をこの

[illegible]
[illegible]
得[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

信夫の里より霧の底
既に戊辰
[illegible]

明治四年戊辰
[illegible]